

森林GIS(QGIS)の活用について

地域課題の解決に向けた取組

宗谷森林管理署

宗谷森林管理署では、地域課題の解決に向けた取組として、市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議で宗谷振興局、管内の森林組合及び、市町村と市町村森林整備計画の樹立に向けて検討会を重ねてきました。

会議の中で、民有林の施業集約化を図り効率的な森林施業を進めていくためには、林業専用道等を適切に配置することが課題となっており、市町村毎の図面を見ながら施業集約化や国有林との連携を検討しながら議論を進めてきました。

しかし、図面だけでは、既設の林道や国有林と民有林の位置関係等が解りづらいことから、「図面と航空写真などと組み合わせで検討することがで

きないか」と参加者から要望がありました。



市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議

この状況を改善するために、地図情報、林小班ごとのデータ、航空写真との連携による一元的な森林管理等を実現する森林GISの研修会を宗谷総合振興局と連携を図り、森林情報士として森林GISの活用に関する専門的な知識と技術を持つ署の職員が研修講師を

担当し実施することとなりました。

研修対象者は、森林林業に携わる宗谷森林管理署、宗谷総合振興局、市町村職員及び、林業事業体など職員25名が参加し二日間の研修会を行いました。

研修内容としては、GISの基礎知識とQGISを活用した基本操作、ハンディGPSとQGISの連携等について学びました。

市町村や事業体でGISソフトを導入するのに経費的な負担のない、フリーソフトで超高性能なQGISを使用して研修を行いました。

事業体の職員からは、「ハンディGPSで記録した面積データ、森林作業道のデータをGISと

連携し、地図上に表示させ、面積計算、森林作業道の距離を計算するなど様々なデータを一元的に管理でき現場でも活用できる」との感想でした。

また、自治体の職員からは「エクセルで作成した森林調査簿データとGISとの連携や航空写真の表示は、施業集約化や森林経営計画、森林調査を進めていくうえで応用できる技術である」との感想でした。



森林 GIS 活用研修

「今後もGISの活用方法や機能を限定した研修会を開催していただきたい」などの要望があり、より高度なスキルアップの実現に、参加者の意欲を感じました。

国有林野事業は、一般会計化から3年が過ぎ民間連携による地域の課題を見つつけ、課題解決に向けて取り組んでいます。

今後も国有林が培ってきた知識・経験・技術力を地域貢献に活かしていきたいと思えます。

※森林GISとは、森林基本図や森林計画図、森林簿といった森林の基本情報をデジタル処理し、図面や帳簿を一元管理するシステムです。

※QGISとは誰でも自由に使ってよい公開されたソフトウェアのこと。